



Tanabe East Rotary Club in 2016-17

2016-17年度RI会長: ジョン F ジャーム
 第2640地区ガバナー: 福井 隆一郎
 田辺東ロータリークラブ
 創立: 昭和49年5月15日

会長: 山本 亘
 幹事: 谷本 司
 会報: 岡本 博



例会場/事務所: 田辺市下屋敷町81-10
 きのくに信用金庫田辺支店3F
 Tel 0739-24-6427 Fax 0739-34-5008
<http://tanabe-east-rc.com/>
 E-mail t-eastro@mb.aikis.or.jp
 例会: 毎週水曜日 12:30~
 ビジターフィー ¥2,000

○会長報告 会長 山本 亘



■本日のお客様は、県立熊野高等学校 教諭 上村 桂 (うへむら かつら) 様と、この春ご卒業されました、熊野高等学校 総合学科 3年・Kumanoサポーターズリーダー 元キャプテン 眺 真彩 (ひかり まあや) 様をお迎えしております。後ほどご講演宜しくお願い致します。

■3月25日(土) テクスピア大阪に於いてロータリー財団補助金セミナーが開催されました。R財団委員長 泉 房次朗君に出席して頂きました。ご苦労様でした。

■3月28日(火) ラビーム白浜ゴルフクラブに於いて当クラブ主催の「第12回田辺東ロータリーカップ ジュニアゴルフ大会」をゴルフ同好会の会員さんにご協力いただき開催致しました。ご苦労様でした。高校生3名、中学生5名、小学生3名、計11名の参加申込みをしていただきました。

○幹事報告 幹事 谷本 司



■例会日時変更

- ◎田辺はまゆうRC
 4月11日(火)→4月11日(火)18:30~
 場所: エクシブ <新入会員歓迎会>
- ◎海南東RC
 4月3日(月)→4月3日(月)19:00~
 場所: たなか屋 (海南市沖野々)
 <新入会員歓迎会及び花見例会>
- 4月24日(月)→4月23日(日)
 場所: 琵琶湖 方面 <家族例会>
- ◎和歌山東南RC
 4月12日(水)→休会

■メークアップ

- ◎3月25日(土) ロータリー財団補助金セミナー
 泉 房次朗君
- ◎3月28日(火) 第12回田辺東ロータリーカップ
 ジュニアゴルフ大会
 本田耕二君、野村憲司君、武田静也君

■回覧

- ◎ガバナー事務所より
 「規定審議会への決議案、制定案の提出について」
 「2017学年度ロータリー米山記念奨学会 カウンセラー・米山記念奨学生オリエンテーションのご案内」
 「囲碁同好会2017年国際大会(台湾)『第18回ロータリー国際囲碁大会』のご案内」
 「囲碁同好会2017年国際大会(台湾)『第18回ロータリー国際囲碁大会案内状』配布のお願い」
 「国際ロータリー: 2016-17年度会長賞のリソースと期日について」
- ◎ガバナーエレクト事務所より
 「2017-2018年度のための地区研修・協議会開催のご案内」

■連絡

- ◎4月のロータリーレートは1ドル=116円です。
- ◎「識字率向上運動協賛のお願い」の募金箱と、書き損じはがき(年賀はがきの書損じ等)の受付箱をSAA・親睦の机に置いています。ご協力宜しくお願い致します。
- 募集物:
 - 書損じ葉書(年賀葉書の書損じ等)
 - 未使用切手(封筒、葉書に貼り付けられた状態でも可)
 - 未使用テレホンカード(1度でも使った物は不可)
 - 現金 日本円(お札、硬貨何れも可)
- 募集期間: 2月1日~3月31日
- 協賛先: 日本ユネスコ協会連盟

○本日の唱歌

「あゝ、田辺東ロータリー」

唱歌委員 後藤 信博君
作 詞 : 青木 泰秀
作 曲 : 古家 通代



○ゲスト・ビジター

県立熊野高等学校

教諭 上村 桂様



県立熊野高等学校
KUMANO サポーターズリーダー
元キャプテン
暁 真彩様



○出席報告

会員数 50名 義務免除 2名 本日の欠席者 12名
本日出席率 75.00% 3月15日の修正出席率 91.67%

○にこにこ報告

(敬称略)

◇県立熊野高校教諭 上村桂様、kumanoサポーターズリーダー 暁真彩様をお迎えして。

後藤信博・橋本隆・片井貢・木村壽一・森本修至
野村憲司・緒方雅男・奥平朋久・佐田一三・
武田静也・竹村英一・谷本司・谷中順次郎・
上原俊宏・山本亘・吉田和枝・吉本正美

◇初めて、日本商工会議所会頭より、賀状をいただきました。

丸山 博之



◇皆さんは、花粉症の影響はいかがでしょう？私は、小学生時代から俗にいう「鼻カタル」「蓄膿症」気味で、そこへ花粉症が重なり、今は睡眠中が最悪です。泥棒が家に入り、「ガムテープ」を口にされてしまう悪夢を見ることがあります。そこで手術を決めました。大阪の名医と言われる病院に問い合わせると、早くて11月後半と言われ、待っとれん！！ほかの病院なら、5月29日。これに決定しました。来年の春は、花粉症で悩まないで済むことでしょう。

北村 圭司



◇お花いただきます。

橋 博



○委員会報告

ロータリー財団 泉 房次朗

先週25日にエキスピア大阪にて、ロータリー財団の委員長会議がありました。財団では、補助金を活用した事業を展開していただくことが話し合われました。制度としては、3年前の寄付額により補助金が決定されます。寄付額の25%が交付され、当クラブでは\$4000ほどの寄付ですので、約\$1000の交付がされます。この補助金を活用していただき、次年度財団担当の方に新しい事業を取り組みしていただくことを希望いたします。

次年度幹事 片井 貢

本日、例会終了後、次年度非公式理事会を開きますので、次年度関係者は出席をお願いします。



四つのテスト：1. 真実かどうか2. みんなに公平か3. 好意と友情を深めるか4. みんなのためになるかどうか

「地域に根ざし地域に貢献する高校生リーダーを目指して」

Kumanoサポーターズリーダー
暁 真彩

県立熊野高等学校
教諭 上村 桂



皆さん、こんにちは。

Kumanoサポーターズリーダー元キャプテンの暁 真彩（ひかり まあや）と申します。本日はこのような会に招待して頂き、ありがとうございます。

今日は短い時間ですが、私たちのクラブの活動紹介をさせていただきます。宜しくお願いします。

私たちKumanoサポーターズリーダーは、『地域に根ざし地域に貢献する高校生リーダーを目指して』をモットーに、様々なボランティア活動を行っています。

初めに、Kumanoサポーターズリーダーは、5年前から学校家庭クラブと活動を共有しています。学校家庭クラブとは、高校生全員が学ぶ家庭科の学習内容の発展としての実践的・体験的な活動を行う全国組織です。主な活動は、全国研究発表大会、全国指導者養成講座、各種コンクール・コンテスト、アメリカへの留学生派遣などを実施しています。Kumanoサポーターズリーダーが家庭クラブ活動とタイアップし、共有することにより、地域の交流活動やボランティア活動など様々なイベントに参加しています。

5年前、初めて取り組んだボランティアは、その日だけ取り組む単発的な体験活動でした。しかし、年数を重ねるごとに地域・世代によって様々な問題や課題が見つかり、それらを解決する方法はないかと考え始め、これが、『サービスマーケティング』のきっかけとなりました。これは3年前の先輩から始まった取り組みです。

『サービスマーケティング』というのは教室で学んだ知識・技能を、地域社会の課題を解決するために、活動の中で生かすことを通して、市民的責任や社会的役割を学んでいく学習方法をいいます。

活動の流れは、このようになっております。3年前からこのような形でプレゼンを作り、町内の協議会と上富田町長さんの前やそのほか、様々な場所で報告をしています。

1. 活動のねらい

高齢者や障害を持った人達や学童たちは、災害時において「災害弱者」となります。普段からこのような世代の方々と関わりを持つことは、絆作りと「自助・共助」の精神を養うことに繋がります。

2. 活動計画

主に5つの活動を行っています。

ここで、サービスマーケティングの実践活動を紹介します。サービスマーケティングは全国的にも高校では浸透しておらず、大学で力を入れはじめている活動です。授業で学んだ折り紙の検定を利用して、お年よりの方々に折り紙の指導を行いました。

包括支援センターの依頼をうけ、3日間、岩崎地区の公民館活動の認知症予防講座に、F群の「家庭総合」選択生徒と参加しました。指先の細やかな作業が脳を活性化し、認知症予防に繋がります。参加した福祉系列3年生は「僕は将来、作業療法士を目指しているの、コミュニケーション力を磨くいい経験になりました。自分の住んでいる地区の方々ばかりで、祖母や母の知り合いもいて、話題も広がり楽しい時間でした。」このように、本来予防のために参加している高齢者の方から、高校生の自分たちが多くのことを学ばせて頂きました。

次に、5つの絆つくりボランティアを紹介します。

1つ目は、上富田町内の高齢者の自宅を訪問し安否確認を行う「ハートフルチェックボランティア」です。事前に、部員全員が上富田町福祉センターで「認知症サポーター養成講座」を受講します。昨年度は約278軒訪問しました。上富田町内で安否確認を必要とする方々は約3000軒と言われています。



2つ目は、夏休みを利用して、高齢者の「転倒予防教室」や「生きがい教室」に部員が参加し、ストレッチや体操、簡単なゲームなどをして交流を行っています。毎回参加される方々にその日の体調をお聞きし、血圧測定や健康チェックを行ってから、一緒に活動を始めています。



3つ目は、学童保育に通う子供たちに、宿題のサポートや絵本の読み聞かせを行う「学童保育ボランティア」です。小学生の学力・体力の低下は、和歌山県全体の課題とされています。また共働き家族の増加による、学童保育待機児童数の問題など、これらの問題解決に向けての取り組みです。



4つ目は、夏休みに障害児の方々と、よさこい踊りやダンスで交流を行う「障害児の夏期保育ボランティア」



です。今年度も夏休みに8回活動を行いました。障害を持つ家族の方々の夏休み中の負担を少しでも軽減しようと、上富田町住民生活課の方と一緒に取り組んでいる活動です。

5つ目は、行政のお祭りやイベント活動において、ステージでのダンス披露や受付、イベントブース スタッフ



等のボランティア活動などを行っています。見ているお客様に感動を与えることが出来るようなダンスを披露しようと、日々レベルアップに向けて練習していますが、練習場所が無く、毎日アスファルトの上で靴に穴を開けながら練習に励んでいます。

昨年度から今年度にかけて、和歌山大学防災科学教育研究センターと上富田町と3者の共同で「防災エクサダンス」というDVDを開発しました。夏休みに、社会福祉協議会の「生きがい教室」や「転倒予防教室」において、32日間48箇所、このダンスの普及活動を行いました。また地域の防災イベントでダンスを披露し、啓発活動も行いました。

このように、私たちの活動のねらいは、災害が起こった時に、子どもやお年寄りや障害を持った人たちが、どの時間にどこにいるかを常に意識していくための絆作りです。高齢者や障害を持った人達や学童保育の子どもたちは、災害時において「災害弱者」となります。普段からこのような世代の方々と関わりを持つことが、絆作りと「自助・共助」の精神を養うことに繋がると考えています。

さらに、今年は「ステップアップ！上富田町から世界へ」をモットーに、国際交流も積極的に行っています。交換留学生とダンスで交流したり、今年は世界最貧国である西アフリカのブルキナファソで野球を広めようと活動している日本人に協力し、チアリーダーとして応援に参加したり、募金活動なども行いました。

これら多くのボランティア活動と、数年に渡る地域連携活動がきっかけとなり、平成27年9月に上富田町と熊野高校が「まちづくり連携交流協定」を結ぶこととなりました。様々な活動を展開してきた成果が、このような協定に結びつき、部員一同驚きを隠せない様子であると同時に、益々今後も貢献活動を積極的に継続して行こうと、身の引き締まる思いでした。新聞報道やテレビの取材などが増えると

同時に、ますますボランティアやダンスに熱心な部員たちが増え、より充実した活動に広がっていきました。

県内では、キワニスクラブ様からキワニス奨励賞を頂きました。また、紀南ソロプチミスト協会様からクラブ賞を頂きました。

昨年始、ボランティアスピリットアワードに応募し、関西ブロック賞という賞を頂きました。11月、神戸でおこなわれた関西ブロック表彰と、12月に東京国際フォーラムでおこなわれた全国表彰に参加しました。

今年度は、「防災エクサダンス」の普及活動について、「コミュニティ賞」を受賞し、大阪国際会議場で表彰を受けました。そして、住友生命主催 ヤングジャパンアクションという賞で全国大賞を頂きました。また「1.17ぼうさい未来賞防災甲子園」において、高校生部門3位にあたる奨励賞を頂きました。さらに、パナソニック教育財団の「こころを育む活動」でも全国大賞を頂き、元文部科学大臣の遠山敦子（とおやま あつこ）様から表彰状を受け取りました。お手元の、この冊子をご覧ください。今年の秋にはこの全国フォーラムが、紀南地方で開催されます。



幹部が交代し、新体制になると、町長訪問で提言活動をするため、毎年新たなプロジェクトを考えています。来年度は「独居老人の方々にもっと寄り添うには？」という課題に対して、今までの成果を発揮し、家族の安心と高齢者の方々の生きる糧として、高校生が独居老人宅に下宿するシステムを導入しようと考えています。また、3月19日もうひとつの全国大賞を頂いたキックオフイベントで、タレントの浅田舞さんと一緒に、高齢者の方々とダンスで交流を行いました。

今年度の取り組みの反省を活かし課題解決に向け、後輩たちには来年度も積極的に様々な活動に参加して欲しいです。自分も卒業後は、OBとして町とサポーターズの架け橋と成り、町役場と社会福祉協議会と連携をとり、町ぐるみでこの計画を実現化していきたいと考えています。

ご清聴ありがとうございました。



四つのテスト：1. 真実かどうか2. みんなに公平か3. 好意と友情を深めるか4. みんなのためになるかどうか